



優秀賞

帯広市



「十勝をPRできる宇宙日本食」を開発します

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会 【帯広市】

十勝の新たな産業である宇宙産業と十勝農業との融合を目指して

【はじめは？】

2021年4月に十勝の大樹町が中心となり、地域と宇宙を繋ぐ「北海道スペースポート」構想が本格的に稼働しました。JAXA及び宇宙食開発実績のある地元企業から「宇宙日本食」開発の誘いを受け、私たちは食を学ぶ農業高校生として、最高レベルの品質管理が求められる宇宙日本食開発の取組を始めるとともに、十勝産原料にこだわることで、宇宙日本食をとおして十勝農業のPRを目指します。

【おもな活動】

- 宇宙日本食開発の取組経緯は以下のとおり
- ・2022年度：外部連携の確立と宇宙食レシピの完成
初年度は、外部連携する企業や団体を確立して活動の基盤づくりを行いました。また、宇宙食レシピ「クリームシチュー」を完成させました。
- ・2023年度：工場での宇宙食製造と保存試験開始
工場での製造に向けて殺菌方法を確立し、1年6ヶ月の保存試験を開始しました。その間、宇宙日本食審査に向けての資料作成を行いました。
- ・2024年度以降：宇宙食の審査と製品提供
審査に向けた対応とともに製品普及のためのPR活動を行います。審査の結果、宇宙日本食の認証を得ましたら、宇宙ミッションに製品を提供します。



連携企業等との会議

【ここが自慢】

【高校生が作る宇宙日本食を宇宙へ】

私たちは、最高レベルの品質管理が求められる宇宙食の開発、また、スペースポートの訪問や宇宙サミット等の会議の参加をとおして新規ビジネス機会の創出、SDGsへの貢献への期待の大きさを再確認しました。

試算では、2040年に110兆円まで拡大する宇宙産業に、次代を担う私たち高校生が参入する意義は大きいと考えています。

地域企業やJAXAの協力を得て必ず開発している宇宙日本食を宇宙に届けます。

私たちの「OBINOH Space Food Project」は宇宙に向けて着実に進んでいます。

連絡先

代表者名：佐藤 裕二さん／設立：2021年／会員：14名

住所：北海道帯広市稲田町西1線9番地

電話番号：0155-48-2102

F A X：0155-48-3052

E-mail：kyo-114go2@hokkaido-c.ed.jp

U R L：